

発行所
特定非営利活動法人
北関東産官学研究会
群馬県桐生市織姫町2-5
桐生地域地場産業振興センター4階
郵便番号376-0024 電話0277-46-1060

Hi Ka Lo News
Highland Kanto Liaison Organization
URL <http://www.hikalo.jp/>

2014年(平成26年)7月25日

第47号 (年3回発行)

新規事業などを紹介する根津紀久雄会長（桐生地域地場産業振興センターで）

「次世代成長産業創成研究会」は、群馬県が次世代産業として掲げる車両・ロボット・健康科学、環境・新エネルギー、観光の創出を支援・促進するのが狙い。国や県をはじめ、「医療・介護ロボット研究会」や「群馬大学次世代EV研究会」「群馬再生可能エネルギー技術交流研究会」といった既存の団体とも連携し、対象分野でのブレークスルーを目指す。

「次世代企業経営塾」は、創業者支援、事業継承者支援、若手経営者の育成など、「やる気」の人材を対象に創業や経営のテクニックを提供するものが狙い。

いずれも今夏をめどにキックオフ式典であり、研讨会が立ち上がり、休会中のエコライ

フデザイン研究会を含め、北関東産官学研究会の専門部会は七つになる。このほか、前年度は休講した「ものづくり力レッジ」を、今年度は金属材料と接合技術をテーマに開講する。また、桐生

桐生地域地場産業振興センターで開かれ、次世代の経営者育成や成長産業の創出を目指した「次世代企業経営塾」「次世代地域産業創成研究会」の2専門部会を新設する事業計画などが承認された。あいさつで根津会長は「地域企業に役立つ事業を展開しながら、産・学両面の発展に貢献することが研究会の望み。従来の目標は継続しつつ、新たな事業にも積極的に取り組みたい」と意気込みを述べた。

次世代成長産業創成研究会 次世代企業経営塾

金属材料と接合技術テーマに 「ものづくり力レッジ」を開講

一つの専門部会新設

2014年度総会



姫町の桐生地域地場産業振興センターで開催された。

6月2日、桐生市堤町の桐生プリオパレスで、北関東地区化学生技懇話会主催の2014年度総会ならびに記念講演会が開催された。

総会では、13年度事業報告および会計報告が満場一致で承認された。さらに、14年度事業計画案が開かれ、群馬大学大学院化学生技懇話会総会と記念講演会が開かれた。

黒田氏、西田氏、故佐藤氏を表彰

化学生技懇話会総会と記念講演会開く

理工学府教授の宝田恭之氏が「地域力を活用した感性豊かな人材育成」の演題で講演した。宝田氏の講演は、2008年度から5年間実施されたJST社会技術研究開発センター公募事業・社会技術研究開発事業「地域に根ざした脱温暖化・環境共生社会の中の「地域」の街・桐生の構築」研究プロジェクトに関しての街・桐生の構築

プロジェクトに関する報告と今後の展開に関する講演だった。

（群馬大学大学院理工学府准教授 箱田優）

成果磨いて実装へ

創発的地域づくりによる
脱温暖化プロジェクト

桐生で実験始まる

科学技術振興機構・社
会技術研究開発センター
(JST-RISTEX)

桐生は新たに「創発的地域づくりによる脱温暖化」プロジェクトを発足させた。6月15日、桐生市織

能エネルギーの導入を促進し、自立的で持続可能な地域づくりを後押しするのが狙い。

具体的には2グループ

地域づくりを後押しする

のが狙い。

地域づくりを後押しする

共同研究の助成対象決まる

産学支援 8人が審査し12件を採択

5月28日、群馬地区技術交流研究会の2014年度理事会並びに総会と講演会が、群馬大学理工学部で開催された。出席者は理事会19人、総会22人。事業、決算、予算、役員改選が行われた。事業計画では、25周年記念事業として前年度から始められた双向向短期留学などの継続が承認された。

小林幸治氏

新会長に小林氏就任

講演会が、群馬大学理工

学部で開催された。出席

者は理事19人、総会22

人。事業、決算、予算、

役員改選が行われた。

事業計画では、25周年

記念事業として前年度か

ら始める双方向短期

留学などの継続が承認さ

れた。

役員改選では、研究会

初の民間企業出身の会長

が選ばれた。

正田醤油を見学

5月20日には見学会が

行われ、館林市にある正

田醤油館林東工場と正田

醤油が増えた

正田醤油を見学